

3. 糖尿病有病者の動向（前述の生活習慣改善による推計値）	
○ 2010年の糖尿病有病者を約7%以上減少できること見込まれる（糖尿病有病者が約1,000万人以下になる見込み）	
【基準値】：1,080万人（2010年における糖尿病有病者推計値）	基本健康診査受診者の5.6%が医療のレベルとなっている。 (平成11年度基本健康診査結果)
4. 糖尿病合併症の減少	
○糖尿病有病者に対する治療継続の指導を徹底	
【目標値】：100%	診断を受けた者のうち56.1%が治療を受けてい、
【参考値】：糖尿病が強く疑われる人のうち治療を受けている人の割合45%（平成9年糖尿病実態調査）	が、治療中断者が16.6%いる。 (平成12年千葉県生活習慣調査)
8. 循環器病	
1. 血圧低下のための目標	千葉県の現状 千葉県の目標
○成人1日あたりの平均食塩摂取の減少	
【目標値】：10g未満	
【基準値】：13.5g（平成9年国民栄養調査）	13.6g (平成12年県民栄養調査) 10g未満
○成人1日あたりの平均カリウム摂取の増加	
【目標値】：3.5g以上	
【基準値】：2.5g（平成9年国民栄養調査）	3.1g (平成12年県民栄養調査) 3.5g以上
○成人の肥満者（BMI≥25.0）の減少	
【目標値】：20～60歳代男性15%以下、40～60歳代女性20%以下	20～60歳代男性 30.2% 40～60歳代女性 22.1% (平成12年県民栄養調査)
【基準値】：20～60歳代男性24.3%、40～60歳代女性25.2%（平成9年国民栄養調査）	20～60歳代男性 20%以下 40～60歳代女性 17%以下
○運動習慣者の増加	
【目標値】：男性39%以上、女性35%以上	
【基準値】：男性28.6%、女性24.6%（平成9年度国民栄養調査）	男性36.4%、女性26.5% (平成12年県民栄養調査) 男性46%、女性36%以上

2. たばこ対策の充実							
○喫煙が及ぼす健康影響についての知識の普及	<p>【目標値】：100%</p> <p>【基準値】：喫煙で以下の疾患にかかりやすくなると思う人の割合 肺がん 84.5%、ぜんそく 59.9%、気管支炎 65.5%、心臓病 34.1%、妊娠への影響 40.5%、脳卒中 35.1%、胃潰瘍 65.5%、歯周病 27.3% (平成10年度喫煙と健康問題に関する実態調査)</p> <p>○未成年の喫煙をなくす。</p>						
	<p>【目標値】：0%</p> <p>【基準値】：中学1年男子7.5%、女子3.8% 高校3年男子36.9%、女子15.6% (平成8年度未成年者の喫煙行動に関する全国調査)</p>						
	<p>【目標値】：0%</p> <p>【基準値】たばこを吸ったことのある割合 中学生15%（うち毎日7% 時々14% たまに43% 不明36%） 高校2年51%（うち毎日69% 時々11% たまに8% 不明12%） 喫煙に関するアンケート調査 (平成13年茂原保健所) 中学生17% 高校生41% タバコに関するアンケート調査 (平成13年野田保健所)</p>						
○公共の場や職場での分煙の徹底、及び、効果の高い分煙についての知識の普及	<table border="1"> <thead> <tr> <th>県・市町村施設での分煙状況</th> <th>職場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>完全禁煙 空気清浄機・しきりの使用 喫煙場所の設置 自由に吸える</td> <td>ロビーア 27.6% 10.1% 37.9% 27.4%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>職場 45.3% 1.0% 25.4% 25.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○禁煙、節煙を希望する者に対する禁煙支援プログラムを全ての市町村で受けられるようになります。</p>	県・市町村施設での分煙状況	職場	完全禁煙 空気清浄機・しきりの使用 喫煙場所の設置 自由に吸える	ロビーア 27.6% 10.1% 37.9% 27.4%		職場 45.3% 1.0% 25.4% 25.1%
県・市町村施設での分煙状況	職場						
完全禁煙 空気清浄機・しきりの使用 喫煙場所の設置 自由に吸える	ロビーア 27.6% 10.1% 37.9% 27.4%						
	職場 45.3% 1.0% 25.4% 25.1%						
	<p>【目標値】：100%</p> <p>【基準値】禁煙を支援する保健指導を行っていいる市町村19% (平成12年禁煙支援プログラムの実施状況調査)</p>						

		○喫煙者数の減少（県独自）		
		【目標値】：男性 5.2%、女性 8.7%	【基準値】：男性 43.5%、女性 12.3% (平成 12 年千葉県生活習慣状況調査)	男性 35.1% 以下 女性 9.7% 以下
3.	高脂血症、糖尿病は増加傾向の減少	○血清総コレステロール値 240 mg/dl 以上の高脂血症者の減少	【目標値】：男性 10.5%、女性 17.4% (平成 9 年国民栄養調査)	【参考値】：コレステロール値 220 mg/dl 以上 男性 27.3% 49歳以下の女性 12.0% 50歳以上の女性 4.6% (平成 12 年国民栄養調査)
4.	飲酒対策の充実	○1 日に平均純アルコールで約 60g を越え多量に飲酒する人の減少	【目標値】：2割以上の減少	2割以上の減少
		【参考値】：男性 4.1%、女性 0.3% (平成 8 年健康づくりに関する意識調査)	【参考値】：男性 7.6%、女性 1.4% (平成 12 年千葉県生活習慣状況調査)	男性 6.1% 以下 女性 1.1% 以下
		○未成年の飲酒をなくす。	【参考値】： 中学生男子 25.4%、女子 17.2% 高校 3 年生男子 51.5%、女子 35.9% (平成 8 年度未成年者の飲酒行動に関する全国調査 (尾崎ら))	0%
		○「節度ある適度な飲酒」としては、1 日平均純アルコールで約 20g 程度である旨の知識を普及する。	【目標値】：100%	・1合程度と答えた者 67.0% ・2合程度と答えた者 18.0% ・3合以上と答えた者 0.5% ・わからぬ 15% (平成 12 年千葉県生活習慣状況調査)
5.	健康診断を受ける人の増加	○定期検診等の糖尿病、循環器についての検診を受診する人の増加	【目標値】：5割以上の増加	
		【参考値】：4573 万人 (平成 9 年健康・福祉関連サービス需要実態調査)	【参考値】：548,000 人 (平成 11 年度老人保健事業実績)	822,000 人

9. がん		千葉県の現状		千葉県の目標													
1. たばこ対策の充実																	
○喫煙が及ぼす健康影響についての知識の普及																	
<p>【目標値】：100%</p> <p>【基準値】：喫煙で以下の疾患にかかりやすくなると思う人の割合</p> <table border="1"> <tr> <td>肺がん 84.5%</td> <td>ぜんそく 59.9%</td> <td>気管支炎 65.5%</td> <td>心臓病 38.8%</td> <td>脳卒中 45.1%</td> <td>気管支炎 62.1%</td> </tr> <tr> <td>40.5%、脳卒中 79.6%</td> <td>35.1%、胃潰瘍 27.3%</td> <td>34.1%、妊娠への影響 65.8%</td> <td>20.5%、妊娠への影響 21.2%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(平成12年千葉県生活習慣状況調査)</p>		肺がん 84.5%	ぜんそく 59.9%	気管支炎 65.5%	心臓病 38.8%	脳卒中 45.1%	気管支炎 62.1%	40.5%、脳卒中 79.6%	35.1%、胃潰瘍 27.3%	34.1%、妊娠への影響 65.8%	20.5%、妊娠への影響 21.2%			すべて100%			
肺がん 84.5%	ぜんそく 59.9%	気管支炎 65.5%	心臓病 38.8%	脳卒中 45.1%	気管支炎 62.1%												
40.5%、脳卒中 79.6%	35.1%、胃潰瘍 27.3%	34.1%、妊娠への影響 65.8%	20.5%、妊娠への影響 21.2%														
○未成年の喫煙をなくす。		<p>【目標値】：0%</p> <p>【基準値】：中学1年男子7.5%、女子3.8% 高校3年男子36.9%、女子15.6%</p> <p>(平成8年度未成年者の喫煙行動に関する全国調査)</p>		<p>【基準値】たばこを吸つたことのある割合</p> <table border="1"> <tr> <td>中学1年15% (うち 毎日7% 時々14%)</td> <td>高校2年51% (うち 毎日69% 時々11%)</td> </tr> <tr> <td>43% 不明36%</td> <td>11% 不明12%</td> </tr> </table> <p>喫煙に関するアンケート調査</p> <p>(平成13年茂原保健所)</p> <p>中学生17% 高校生41% タバコに関するアンケート調査</p> <p>(平成13年野田保健所)</p>		中学1年15% (うち 毎日7% 時々14%)	高校2年51% (うち 毎日69% 時々11%)	43% 不明36%	11% 不明12%								
中学1年15% (うち 毎日7% 時々14%)	高校2年51% (うち 毎日69% 時々11%)																
43% 不明36%	11% 不明12%																
○公共の場や職場での分煙の徹底、及び、効果の高い分煙についての知識の普及		県・市町村施設での分煙状況															
		<table border="1"> <tr> <td>完全禁煙 27.6%</td> <td>職場 45.3%</td> </tr> <tr> <td>空気清浄機・しきりの使用 10.1%</td> <td>1.0% 100%</td> </tr> <tr> <td>喫煙場所の設置 37.9%</td> <td>25.4%</td> </tr> <tr> <td>自由に吸える 27.4%</td> <td>25.1%</td> </tr> </table> <p>(平成12年喫煙対策状況)</p>		完全禁煙 27.6%	職場 45.3%	空気清浄機・しきりの使用 10.1%	1.0% 100%	喫煙場所の設置 37.9%	25.4%	自由に吸える 27.4%	25.1%						
完全禁煙 27.6%	職場 45.3%																
空気清浄機・しきりの使用 10.1%	1.0% 100%																
喫煙場所の設置 37.9%	25.4%																
自由に吸える 27.4%	25.1%																
○禁煙、節煙を希望する者に対する禁煙支援プログラムを全ての市町村で受けられるようとする。		<p>【目標値】：100%</p> <p>【基準値】禁煙を支援する保健指導を行っている市町村19%</p> <p>(平成12年禁煙支援プログラムの実施状況調査)</p>		100%													

	○喫煙者数の減少 (県独自)	【基準値】男性43.5%、女性12.3% (平成12年千葉県生活習慣状況調査)	男性35.1%以下 女性9.7%以下
2. 食生活の改善	○成人の1日あたりの平均食塩摂取量の減少	【目標値】：10g未満 【基準値】：13.5g (平成9年国民栄養調査) 注) 塩辛い食品の多量摂取が胃がんの危険因子になつてしているので、できるだけ塩辛い食品の摂取を避けることが望ましい。	13.6g (平成12年国民栄養調査) 10g未満
	○成人の1日あたりの野菜の平均摂取量の増加	【目標値】：350g以上 【基準値】：292g (平成9年国民栄養調査)	319g (平成12年国民栄養調査) 350g以上
	○1日の食事において、果物類を摂取している者の増加	【目標値】：60%以上 【基準値】：1日の食事において、果物類を摂取している者 (成人) の割合 29.3% (平成9年国民栄養調査) 注) 新鮮な野菜、緑黄色野菜を毎日摂取し、果物類を毎日摂取することが望ましい。	75.6% (男性71.6% 女性79.5%) (平成12年国民栄養調査) 90%以上
	○20～40歳代の1日あたりの脂肪エネルギー比率の減少	【目標値】：25%以下 【基準値】：27.1% (平成9年国民栄養調査) 注) 脂肪のうち、特に鶏肉、乳製品の過剰摂取を避け、n-3脂肪酸に富む魚類を摂取することが望ましい。	27.0% (平成12年国民栄養調査) 25%以下
3. 飲酒対策の充実	○1日に平均純アルコールで約60gを越え多量に飲酒する人の減少	【目標値】：2割以上の減少 【基準値】：男性4.1%、女性0.3% (平成8年健康づくりに関する意識調査) ○未成年の飲酒をなくす。	男性7.6%、女性1.4% (平成12年国民栄養調査) 全体6% (平成12年千葉県生活習慣状況調査) 2割以上の減少 男性6.1%以下 女性1.1%以下
	○基準値】：中学3年生男子25.4%、女子17.2% 高校3年生男子51.5%、女子35.9% (平成8年度未成年者の飲酒行動に関する全国調査 (尾崎ら))	0%	

- 「節度ある適度な飲酒」としては、1日平均純アルコールで約20g程度である旨の知識を普及する

<p>【目標値】：100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1合程度と答えた者 67.0% ・2合程度と答えた者 18.0% ・3合以上と答えた者 0.5% ・わからない 15.0% <p>(平成12年千葉県生活習慣状況調査)</p>																												
<p>4. がん検診の受診者の増加</p>	<p>【目標値】：5割以上の増加</p> <p>【参考値】：胃がん検診=1, 401万人 子宮がん検診=1, 241万人 乳がん検診=1, 064万人 肺がん検診=1, 023万人 大腸がん検診=1, 231万人</p> <p>(平成9年度健康・福祉関係サービス需要実態調査)</p> <p>注) 各がん検診の受診者数は「平成9年度健康・福祉関係サービス需要実態調査」の各がん検診の受診者数と人間ドック受診者の合計である。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">がん検診の受診者数 (人)</th> <th style="text-align: center;">9年</th> <th style="text-align: center;">10年</th> <th style="text-align: center;">11年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">胃がん検診</td> <td style="text-align: center;">200,586</td> <td style="text-align: center;">197,522</td> <td style="text-align: center;">204,744</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">子宮がん検診</td> <td style="text-align: center;">217,440</td> <td style="text-align: center;">208,412</td> <td style="text-align: center;">212,541</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">乳がん検診</td> <td style="text-align: center;">183,257</td> <td style="text-align: center;">180,123</td> <td style="text-align: center;">186,929</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">肺がん検診</td> <td style="text-align: center;">434,629</td> <td style="text-align: center;">436,420</td> <td style="text-align: center;">466,016</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">大腸がん検診</td> <td style="text-align: center;">239,267</td> <td style="text-align: center;">262,696</td> <td style="text-align: center;">285,409</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(平成12年千葉県生活習慣状況調査)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>乳がん自己検診実施率 31.9% (平成12年千葉県生活習慣状況調査) 100%</p>	がん検診の受診者数 (人)	9年	10年	11年	胃がん検診	200,586	197,522	204,744	子宮がん検診	217,440	208,412	212,541	乳がん検診	183,257	180,123	186,929	肺がん検診	434,629	436,420	466,016	大腸がん検診	239,267	262,696	285,409	(平成12年千葉県生活習慣状況調査)			
がん検診の受診者数 (人)	9年	10年	11年																										
胃がん検診	200,586	197,522	204,744																										
子宮がん検診	217,440	208,412	212,541																										
乳がん検診	183,257	180,123	186,929																										
肺がん検診	434,629	436,420	466,016																										
大腸がん検診	239,267	262,696	285,409																										
(平成12年千葉県生活習慣状況調査)																													
<p>5. 検診体制の整備（県独自）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○がん検診を3年間受けていない人の受診勧奨 ○がん検診を3年間受けていない人の受診率 ○乳がん検診におけるマンモグラフィー検診の普及 ○乳がん検診における超音波検診の普及 ○肺がん検診における超音波検診の普及 ○胃がん検診におけるペプシノゲン法の普及 ○子宮がん検診における受診年齢の引き下げ ○大腸がん検診の受診率及び精検受診率の向上 ○肝がん検診の普及 																												
<p>6. 緩和ケア病棟の整備及び在宅緩和ケアの推進（県独自）</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">県内に緩和ケア病棟 68床、在宅緩和ケア実施施設 4ヶ所</td> <td style="width: 30%;">増加</td> </tr> </table>	県内に緩和ケア病棟 68床、在宅緩和ケア実施施設 4ヶ所	増加																										
県内に緩和ケア病棟 68床、在宅緩和ケア実施施設 4ヶ所	増加																												

10. 母子保健（県独自）

1 健全な心と体の育成

○性に関する正しい知識の啓発

	千葉県の現状	千葉県の目標
1 健全な心と体の育成		
○性に関する正しい知識の啓発		
避妊方法を正確に知っている高校生の割合を増加	高校2年生（17歳） 96.4%（男95.6%、女97.9%） (平成12年度思春期保健に関する調査)	100% 【目標値】：100% 【基準値】：(平成13年度調査) 性感染症について正確に知っている高校生の割合を増加
【目標値】：100% 【基準値】：(平成13年度調査)	高校2年生（17歳） エイズ 93.4% クラミジア 59.6% 梅毒 100% 淋病34.4% (平成12年度思春期保健に関する調査)	100% 【目標値】：100% 【基準値】：(平成13年度調査)
10代の人工妊娠中絶実施率を減少	高校2年生（17歳） 7.4（人口千人対） (平成11年母体保護統計)	減少へ 【目標値】：減少傾向へ 【基準値】：10.6（平成11年、人口千人対） 赤ちゃんを抱いた経験がある高校生の割合を増加
赤ちゃんを抱いた経験がある高校生の割合を増加	高校2年生（17歳） 41.0%（男33.3%、女49.9%） (平成12年度思春期保健に関する調査)	100% 【目標値】：100% 【基準値】：(平成13年度調査)
○薬物乱用防止のための教育を推進		
薬物の有害性を知っている高校生の割合	高校2年生（17歳） 98.1%（男97.9、女98.9） 薬物乱用の習慣性 98.1%（男97.9、女98.9） シンナー遊びが身体に及ぼす影響 95.9%（男95.6、女96.9） シンナー遊びが知覚に及ぼす影響 97.1%（男97.0、女97.9） (平成12年度思春期保健に関する調査)	100% 【目標値】：100% 【基準値】：(平成13年度調査)
2 安心して妊娠、安全で快適な出産ができる環境づくり		
○妊娠の就労環境整備に関する啓発		
「母性健康管理指導事項連絡カード」を知っている妊婦の割合を増加	知っている妊婦 7.1% (平成12年度妊娠・出産・育児に関する調査)	100% 【目標値】：100% 【基準値】：平成13年度調査 妊娠中に職場で配慮が受けられる妊婦の割合を増加
妊娠中に職場で配慮が受けられる妊婦の割合を増加	配慮が受けられた妊婦 69.1% (平成12年度妊娠・出産・育児に関する調査)	100% 【目標値】：100% 【基準値】：(平成8年度)
○ハイリスク妊娠のフォローメリットの確立		
妊娠11週以下（初期）での妊娠の届出率を増加	妊娠15週以下 84.2% (平成12年度妊娠・出産・育児に関する調査)	100% 【目標値】：100% 【基準値】：妊娠15週以下

妊娠婦死亡率の減少 【目標値】：半減 【基準値】：6.1（平成11年、出生10万人対） 妊娠、出産について満足する者の割合を増加 【目標値】：100% 【基準値】：84%（平成12年度幼児健康度調査） 妊娠中の飲酒者をなくす 【目標値】：なくす 【基準値】：（平成12年度乳幼児身体発育調査） 妊娠中の喫煙者をなくす 【目標値】：なくす 【基準値】：（平成12年度乳幼児身体発育調査） 妊娠中の定期健診査の未受診者をなくす ○周産期医療体制の整備 周産期死亡率（後期死産、早期新生児死亡）の減少 【目標値】：世界最高を維持 【基準値】：後期死産率 4.7 早期新生児死亡率 1.3 周産期死亡率 6.0 (平成11年出産千人対) 全出生数中の低体重児・極小低体重児の割合を減少 【目標値】：減少傾向へ 【基準値】：低体重児の割合 8.4% 極小低体重児の割合 0.7%（平成11年） ○母と子の愛着形成を推進するための支援 出産後1か月時に母乳哺育をしている母親の割合を増加 【目標値】：増加傾向へ 【基準値】：（平成12年度乳幼児身体発育調査） 極小未熟児に対してカンガルー療法を実施している病院数を増加	8.0 (平成9年～11年人口動態統計) 自分の希望した出産ができた者 72.8% (平成12年度妊娠・出産・育児に関する調査) 飲酒していた者 19.6% (平成12年度妊娠・出産・育児に関する調査) 喫煙していた者 7.3% 途中で禁煙した者 6.6% (平成12年度妊娠・出産・育児に関する調査) 受けなかつた者 2.1% (平成12年度妊娠・出産・育児に関する調査)	半減 100% なくす なくす なくす なくす なくす 50%
---	---	--

3 子どもの健やかな成長、発達への支援

○乳幼児突然死症候群（SIDS）に関する啓発	
【目標値】：半減	34.6（平成9～11年、人口10万人対）
【基準値】：31.0（平成11年、人口10万人対）	半減
○乳児期にうつぶせ寝をさせている親の割合をなくす	
【目標値】：なくす	おおむねうつぶせ寝 7.0%
【基準値】：（平成13年度調査）	なくす
○子ども事故防止対策に対する啓発	
不慮の事故死亡率を減少	
【目標値】：半減	17.2
【基準値】： 0歳 18.3 1歳～4歳 7.4 5歳～9歳 4.6 10歳～14歳 3.2 15歳～19歳 15.2 (平成11年、人口10万人対)	0歳～4歳 9.0 5歳～9歳 5.2 10歳～14歳 3.2 15歳～19歳 15.3 (平成9～11年、人口10万人対)
チャイルドシート使用率を増加	89.9% 100%
○予防接種に関する相談体制の充実	
予防接種の実施率を増加	
【目標値】：95%	90.7% 95%
【基準値】： 1歳児までにBCG接種を終了 89% 1歳6ヶ月までに三種混合の接種を終了 89% 1歳6ヶ月までに麻疹の接種を終了 71% (平成12年度幼児健康度調査)	1歳児までにBCG接種を終了 82.2% 1歳6ヶ月までに三種混合の接種を終了 76.6% (平成12年度妊娠・出産・育児に関する調査)

○小児科による診療が受けられる総合的な小児医療体制の整備	
新生児死亡率・乳児死亡率を減少	
【目標値】：世界最高を維持	
【基準値】：新生児死亡率 1.8 乳児死亡率 3.4 (平成11年、出生千人対)	新生児死亡率 1.5 乳児死亡率 3.0 (平成11年、出生千人対) 維持
小児科のかかりつけ医をもつ親の割合を増加	
【目標値】：100%	
【基準値】：(平成13年度調査)	88.6% (平成12年度妊娠・出産・育児に関する調査)
心肺蘇生術を知っている親の割合を増加	
【目標値】：100%	
【基準値】：(平成13年度調査)	25.4% (平成12年度妊娠・出産・育児に関する調査)
4 ゆとりある育児への支援	
○子育てに対する相談体制の充実	
育児について相談相手がいる母親の割合を増加	
【目標値】：増加傾向へ	
【基準値】：99% (平成12年度児童健康度調査)	95.8% (平成12年度妊娠・出産・育児に関する調査) 100%
子育てに自信が持てない母親の割合を減少	
【目標値】：減少傾向へ	
【基準値】：27% (平成12年度児童健康度調査)	50.4% (平成12年度妊娠・出産・育児に関する調査) 減少へ
産後3ヶ月位の間に抑うつ気分があった母親の割合を減少	
	48.9% (平成12年度妊娠・出産・育児に関する調査) 半減
○子育て家庭に対する支援体制の充実	
育児に参加する父親の割合を増加	
【目標値】：増加傾向へ	
【基準値】：82% (平成12年度児童健康度調査)	93.4% (平成12年度妊娠・出産・育児に関する調査) 100%
子どもと一緒に遊ぶ父親の割合を増加	
【目標値】：増加傾向へ	
【基準値】：90% (平成12年度児童健康度調査)	83.5% (平成12年度妊娠・出産・育児に関する調査) 100%
○児童虐待を早期に発見できる地域の体制を整備	
児童相談所における児童虐待に関する相談件数	
	489件 (前年度比1.6倍) (平成12年度県立5児童相談所受付件数) 増加を経て減少へ

11. 環境（県独自）		千葉県の現状		千葉県の目標	
1. 大気環境					
○大気中の二酸化硫黄の環境基準の達成率100%を維持	100% (平成11年度)	100%			
○大気中の二酸化窒素の環境基準の達成率を向上	97% (平成11年度)	向上			
○大気中浮遊粒子状物質の環境基準の達成率を向上	22% (平成11年度)	向上			
○低公害車の普及促進	1947台 (平成11年度)			低公害車の普及台数の増加	
○大気中のベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレンの環境基準の達成率を100%とする	ベンゼン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン (平成11年度)	3.9% 1.00% 1.00%		すべて100%	
2. 騒音、振動、悪臭					
○道路に面する地域の騒音の環境基準達成率の向上	6.5% (平成10年度)	向上			
3. 水環境					
○水質のBOD/COD環境基準達成率の向上	49.4% (平成12年度)	55% (2005年目標)			
○合併浄化槽の設置促進	17% (93,796基) (平成11年度)	27% (2005年目標)			
4. 土壌					
○ダイオキシン類の環境基準の達成率100%を維持	100% (平成11年度)	100%			
5. 自然環境					
○自然環境保全地域等の面積の拡大	1,944ha (平成11年度)	拡大			
○緑とのふれあい面積の拡大	9,474ha (平成11年度)	10,193ha			
○川辺・海岸に親しめる環境が整っている人の割合の増加				増加	
6. 廃棄物					
○一人1日当たりのごみ排出量の減少	1,025g (平成11年度)	850g			
○一般廃棄物のリサイクル率の向上	19.5% (平成11年度)	35%			
○産業廃棄物の最終処分量の削減	1116万t	減少			
○産業廃棄物のリサイクル率の向上	57% (平成10年度)	向上			
7. 地球環境					
○県内の温室ガスの総排出量を平成2年度から6%削減	21,194千t (炭素換算) (平成2年度)	6%削減			
○フロン回収量の増加	15.6t (平成10年度)	増加			
8. 環境学習の推進					
○環境学習への参加者の増加	11,295人 (平成11年度)	14,000人に増加			

